

補助金	負荷平準化機器導入効果実証事業	フェーズ：C	支援分野：省エネ促進	23年度予算額：3.8億円
		昨年度の募集期間：平成22年9月6日～平成22年9月24日		

事業の概要

○次世代の送配電網(スマートグリッド)を構築する一環として、従来の機械式のメーターに代えて、双方向通信機能のついた電子式メーター(スマートメーター)を導入し、電気使用量の「見える化」や、需要変動等に応じた料金設定を行うことなどによって、省エネ・負荷平準化を目指すために、大規模な導入実証事業を行います。

支援内容

○スマートメーター導入に期待される省エネルギー・負荷平準化効果について分析を行うことを目的として、一般家庭等を対象に、電気使用量の「見える化」や時間帯別の料金設定を行う等の大規模な実証事業を行います。

○具体的には、一般家庭等に900台程度のスマートメーター(注)を設置した上で、「見える化」に加え、料金プログラムや機器制御技術を通じた需要側の管理(デマンドサイドマネジメント)に係る効果を検証します。

注:本実証事業においては、双方向通信機器と電子式メーターを組み合わせたものを設置

本実証用の時間帯別料金プログラム
により高価料金枠が高くなったり、安くなったりする料金プログラムの実証

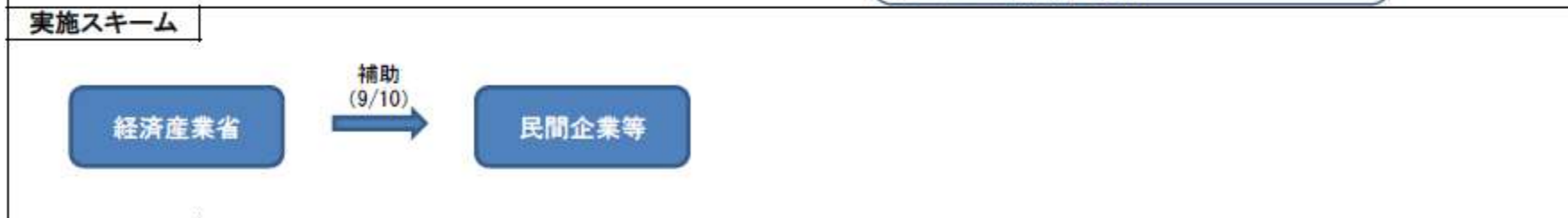
見える化

エアコンの自動制御(一階リビングのみ)
OFF
※室温が30℃以上になるとエアコンを制御

スマートメーター

データセンター

- ①各家庭の30分ごとの使用電力量の収集・蓄積
- ②消費電力量等の「見える化」情報の発信
- ③実証実験用料金プログラムの適用、料金計算
- ④エアコンの制御指令を発信



お問い合わせ先

資源エネルギー庁 電力市場整備課 TEL:03-3501-1748